

## 2 めざす都市空間を形成するための分野別の取り組み

### (7) 災害などの危機に備えた安全な都市空間の形成

#### 1 課題

水害や震災等の経験と教訓をふまえ、災害のみならず新型インフルエンザなど市民生活の危機に備えた施設整備・体制整備等を今後も継続的に進める必要があります。特に、災害発生時に救援物資や救援隊を受け入れるため、神戸港・神戸空港の交通結節機能を活用していく必要があります。

施設整備の想定を上回る近年の局地的な集中豪雨などによる災害発生への懸念や、大規模・高層建築物など連続・高密度な空間における災害発生時の安全性確保の懸念など、減災の視点も含めて都市の持つ災害等に対する脆弱性を減少させることが必要です。

#### 2 取り組みの方向性

##### (1) 都市基盤等の整備・維持管理

- ・防災中枢拠点（危機管理センター）や防災総合拠点（区役所）の耐震化や施設の整備・充実
- ・水害、高潮・津波、土砂災害、地震その他の自然災害対策や被害軽減に必要となる防災施設の整備・充実と維持管理の実施
- ・災害発生時にも機能する交通ネットワーク（緊急輸送道路・鉄道等）やライフライン（上下水道等）を確保し、すみやかに社会経済活動を安定させるため、橋梁をはじめとした施設の耐震化促進と適切な維持管理・更新の実施
- ・救援物資等の受け入れ拠点の形成および海上ルートの確保等のため、港湾施設の耐震化促進
- ・防災緑地軸や公園の整備など、適切なオープンスペースの配置
- ・地震や降雨等の予知・予報システムを強化するため、観測施設の整備・充実
- ・大規模災害などに備えた、危機管理室を中心とした全庁的な連携体制等の強化や、関係機関との連携強化、消防力の充実・強化および高度化・専門化

##### (2) リスクを小さくするための土地等の使い方の工夫

- ・住宅など建築物の耐震化促進および不特定多数が利用する施設の安全性確保への支援
- ・密集市街地等の防災性を向上するため、地域における生活道路の整備や空き地の有効活用等を考えるまちづくりへの支援
- ・市街地の浸水被害を軽減するため、雨水の貯留・浸透や緑化による保水力の向上など雨水流出量を抑制する取り組みに対する支援

##### (3) 地域力による安全性向上へのリスク情報の活用等

- ・住まいにおける災害等の予防対策の促進や、大規模・高層建築物や危険物施設等における自衛消防力の確保などを通じた、建築物における防火防災力の強化などへの支援
- ・市民・事業者・行政が地域の災害危険情報を共有しながら減災に取り組むため、ハザードマップ等の整備・充実
- ・災害時の的確な情報伝達の確保、地域・住民との協働による避難計画の実効性確保